

2026年2月13日

各 位

東京都港区六本木六丁目8番10号
会社名 株式会社モブキャストホールディングス
代表者名 代表取締役CEO 藪 考 樹
(コード番号: 3664 東証グロース)
問合せ先 取締役管理管掌 知久峻輔
(TEL.03 - 6820 - 4191)

前期連結実績と当期連結実績との差異に関するお知らせ

本日「2025年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2025年12月期
通期業績につきまして、前期連結実績について差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 当期連結実績と前期連結実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期連結実績 (A)	百万円 3,071	百万円 ▲157	百万円 ▲189	百万円 ▲169	円 銭 ▲3.73
当期連結実績 (B)	2,808	▲327	▲432	▲526	▲8.21
増減額 (B - A)	▲263	▲170	▲243	▲357	—
増減率 (%)	▲8.6	—	—	—	—
(参考) 当期業績予想	—	—	—	—	—

当期業績予想につきましては、当社グループの主要セグメントあるIP投資育成事業につきましては、
保有する営業投資有価証券の譲渡を引き続き目指してまいります。現時点において譲渡の発生時期
及び金額を合理的に算定することが困難であります。また、保有する暗号資産につきましては、価格
変動が大きく将来の価格動向を合理的に見積もることが困難であることから、株主・投資家の皆様へ
の誤解を招かないため、現時点では業績予想を非開示といたします。

2. 当期連結実績と前期連結実績との差異理由

売上高につきましては、IP 投資育成事業で前期連結実績では保有する営業投資有価証券を約 250 百万円で譲渡したものの、当期連結実績では実現できなかったことによる減少と、デジタル IP 事業で前期にライセンス IP 事業を譲渡し、譲渡対象外のゲームタイトルの売上が約 25 百万円あったものの、サービス終了により減少したことが売上の減少に影響しました。一方で、売上原価並びに販売費及び一般管理費につきましては、ライフスタイル IP 事業においては従来から実施している主要コスト削減の効果より 39 百万円、デジタル IP 事業では約 16 百万円、当社の本社移転等の管理コストの削減により約 30 百万円等全体で約 92 百万円減少しました。そのことが、営業損失の減少に繋がりました。また、当期は保有する暗号資産の評価損（暗号資産評価損）76 百万円、新株予約権の発行及び買取に関連する費用（新株予約権発行費）17 百万円、減損損失 42 百万円、事業撤退損失 32 百万円等を計上し、これらのことが経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失の増加に繋がっております。

なお、詳細につきましては本日（2026 年 2 月 13 日）公表いたしました「2025 年 12 月期決算短信[日本基準]（連結）」及び「営業外費用の計上（連結決算及び個別決算）並びに特別損失の計上（連結決算及び個別決算）に関するお知らせ」をご参照ください。

以上